

平成25年度 まちづくりパワー支援補助金の結果

平成19年度からスタートし、平成24年度に制度を見直して新たにスタートした「まちづくりパワー支援補助金」は、地域の活性化に向けて地域住民が「自ら考え、自ら実践する」まちづくり活動を支援する制度で、各自治区の「まちづくり協議会」において審査・採択されます。各自治区で採択された事業の結果は下記のとおりです。

	事業名	団体名	事業内容	補助金交付決定額 (円)
北見自治区	行方不明になった認知症者の捜索事業	行方不明から安全に戻る事を願う会	認知症者の行方不明事故について、家族の気持ちと同じ立場になって捜索活動にあたり、福祉の増進と安心・安全な地域づくり活動を推進した。対象エリアは南部地区、西部・相内地区、留辺蘂・端野エリアまで拡大。【会員数：115人・フォーラム及び講演会等：5回実施】	175,000
	災害に対する備えの啓発及び活動資材の整備事業	北見市災害ボランティアの会	防災に対する危機意識の向上と自助、共助の精神を養うことを目的とし、災害時における生命、財産等被害が最小限となるよう防災用具を整備し、防災展を開催し、またのぼりの増設を行い啓発に努めた。また、講演会・研修会も実施した。【H26から市予算による実施】	639,000
	安心、安全のぼり大作戦事業	北見北西地域「安心、安全な地域」づくりの会	防災標語を入れたのぼりを作成し、地域内の町内会・学校・事業所周辺やサポーター宅に設置してもらうことで、不審者事件の発生件数の減少がみられた。安心・安全な地域づくりと地域住民の連帯意識醸成と強化ができた。【のぼり配布数：183枚】	146,000
	お産まつり事業	お産まつり実行委員会	北見市民会館でお産まつりを実施(H25.7.20)。講演会や助産師による相談コーナーを行い、妊娠や出産に関する不安の軽減や疑問の解消につとめ、不安のない健康な母子を育むことを図った。また、関係者の横の連携の構築を図ることができた。【来場者数：約70人以上】	148,000
	ハートイルミネーション事業	相内地域の環境美化を考える会	冬季間に地域の街路樹にイルミネーションを点灯しており、これに華や楽しさをつけるため、ハートとキャラクターアニメのイルミネーションを追加して設置した。地域やドライバーから好評の声が寄せられた。【総設置数：14基】	427,000
	SLオホーツク号歓迎事業	SLオホーツク号歓迎北見実行委員会	SLオホーツク号の運行に合わせ、「映画上映会・シンポジウム【参加者数：124人】」「歓迎北見まん村焼き肉まつり【参加者数：約100人】」「鉄道遺産巡りセミナーツアー【参加者数：7人】」を開催し、訪れる道内外の観光客を歓迎した。新たな観光資源を開発することで、沿線地域経済の活性化をすすめた。	442,000
	「地産地消」を軸に、「まちづくりの担い手育成」事業	オホーツク北見塩やきそば推進協議会	「食」によるまちおこしのシンボルと位置づけられている「オホーツク北見塩やきそば」を旗印に、まちづくりの担い手の育成と強化を図るため、パンフレット作成・出前講師等の普及推進活動を行った。【料理教室：4回開催・講師派遣20回】	699,000
北見自治区計 7事業				2,676,000
端野自治区	花そよぐ道づくり事業	花咲おじさんの会	新設道路脇の未利用地に様々な色のひまわり、コスモスやルピナスなどを市民の力で植え、地域の環境整備を図るとともに、住民相互の交流が推進された。【参加延べ人数70人】	56,000
	手作り味噌を体験しよう事業	「のんこちゃん」食育倶楽部	子どもと大人を対象に地元で採れた農産物を使用し、味噌作りを体験した。食べ物への愛着と大切さなど食を通して情操教育の向上を図られた。【参加者 小学生50名・講習会大人17名】	157,000
	忠志桜パーク事業	忠志ふれあい環境隊	忠志地区の中心にあるスクールバス停留所周辺の緑地帯に桜の木を植樹し、植樹することにより、地域の環境と生活の向上が図られ、さらに住民自治の充実強化が図られた。【参加延べ人数20名】	107,000
	豊北発「緑のダイニング事業」	みんなのダイニングとよほく会	地元の食材を使い、子どもから大人までを対象とした「蕎麦打ち教室」・「パン作り教室」などを開催し、「食の大切さや素晴らしさ」について学んだ。【講師2名、そば講習会：17名参加、パン講習会：6名参加】	50,000
	まちづくりはひとつり 人と人を繋ぐ講演会事業	まちづくり応援隊	一人ひとりが元気で他を思い合えることで、より住み良いまちを作るために講演会と討論会を実施し、先進的な農業を通しての地域貢献を学ぶことができた。【講師3名：地域農業者等と懇談会開催、講演会討論会約150名参加】	900,000
	【天のしずく】上映・食育事業	ひと粒のいのちの会	映画上映会を開催し、食の大切さを体感する。さらに素材を活かした料理講習会を行い、食を通じた生活向上や地域のコミュニケーション力の向上を図られた。【料理教室：25名参加、映画上映：138名参加】	230,000
端野自治区計 6事業				1,500,000
常呂自治区	トコ×たべプロジェクト事業	ところ おいしいシアワセ見つけ！隊	「常呂」の食材を使った日常の料理や伝統の料理をレシピ集として書籍化し実践することで、地元「食」について理解を深めるとともに「常呂の豊かさ」を広く伝えることができた。【食の大切さを学ぶフォーラム：65名参加、トコたべレシピ集「しあわせ ところごはん」完成報告会：39名参加】	748,000
	オホーツクところ特産品村事業	ところ街おこし実行委員会	ところ常呂ビーチを会場に、常呂の特産品や生産物を利用した食べ物の提供やステーションイベントなどを開催するこだわりの「特産品村」を開設し、常呂のPRと地域の活性化を図った。【開設期間：7月27日～28日の2日間 来場者：延べ800人】	600,000
	常呂自治区計 2事業			
留辺蘂自治区	滝の湯蛭祭り事業	滝の湯蛭祭り会	蛭を通じて、自然環境の保全を図り、蛭祭りを実施して、地域の魅力を幅広く発信し、活気あふれるまちづくりを推進するとともに、子どもたちの健全育成に努めた。【祭り期間 7月12日～8月31日 来場者 約3,075名】	378,000
	作家 中山正男氏資料展示・映画会事業	作家 中山正男氏保存会	「果夢林の館」で留辺蘂町出身の作家・中山正男氏の略歴年表、小説、映画に関する資料の展示、図書館で映画会及び講演会を実施し、多くの方に同氏の周知、郷土に対する気持ちを強く持ってもらえた。【資料等展示期間 8月～9月 来場者 約180名、映画会・講演会 10月10日開催 参加者 80名】	114,000
	続留辺蘂町史編集発行事業	続留辺蘂町史編集発行委員会	旧留辺蘂町史誌の発行から合併までの23年間を続留辺蘂町史として編集・発行し、それを元に講演会を開催。成果品を公共施設に寄贈し、市民の閲覧に供し、地域の歴史の継承と地域振興の一助とすることができた。【「続留辺蘂町史を語る会」3月13日開催 参加者 15名】	282,000
	かかしプロジェクト事業	かかしの会	温根湯温泉の「山の水族館」から「温泉ゆめ広場」までの温泉通り沿いにかかしやユニークな手づくり人形を設置し、足湯の利用や温泉街を歩いてもらうためのしかけを行い、地域観光の活性化に繋がった。【かかし・人形(約100体)設置 期間 7月5日～9月20日 作製人数 35名】	367,000
	演劇鑑賞、絵本原画展事業	読み聞かせ会 あのね	演劇鑑賞会と絵本の原画展を開催し、種々の文化にふれることにより、幼児や青少年の健やかな心の成長と高齢者や障がいを持つ人々に感動と心のやすらぎを与え、まちづくり活動に貢献。【演劇鑑賞 9月15日開催 参加者 85名、絵本原画展 3月4日～9日開催 来場者 400名】	359,000
留辺蘂自治区計 5事業				1,500,000
合計				7,024,000